

2018年 第1回 Chapter Operations Committee Meeting 議事録(案)

1. 日時

2018年6月25日(火) 14:00 – 16:00

2. 場所

機械振興会館 地下3階 研修1

3. 出席者

- Chapter Operations Committee: Chair 藤島 実, Vice Chair 福田 英輔, Secretary 伊藤 浩之
- Japan Council: Secretary 杉江 利彦, Past Secretary 原崎 秀信, Treasurer 眞田 幸俊
- 仙台支部 Chap. Promo. Comm. Chair 山田 博仁, 東京支部 Chap. Ope. Comm. Vice Chair 奥村 治彦
- Chapter Chairs: 57名 (Japan Office, WebEX 出席, 代理を含む), 事務局:3名

5. 議事

(0) 資料確認

配布資料を確認した。

(1) 議事録確認

藤島 Chair より, 資料(1)「2017年 第2回 Chapter Operations Committee Meeting 議事録(案)」に基づいて説明があり, 前回 Meeting の議事録が承認された。

(2) IEEE Japan Council 関係

• 2-1 2018年第1回理事会報告

杉江 JC Secretary より, 資料(2-1)「2018年 第1回 IEEE Japan Council 理事会 議事録(案)」に基づいて, 理事会での審議・報告事項に関する説明があった。

- 仙台支部 Chair, 東京支部選出理事 兼 JC WIE Chair, 南理事の MGA 担務について変更があった。
- 2017年 Japan Council 決算報告・監査報告で, 監査から以下の指摘があった。
 - 預金が1000万以上となっており, 銀行の保証範囲を超えている。
 - Chapter 支援費の未払い計上額と実際の支払との差異が大きすぎる。

- 2018 年 Japan Council 活動計画および 2018 年予算の説明がなされた。前回の理事会の計画と予算に関して大きな違いはない。追加した箇所は、第3回理事会の場所が決まった点、インドネシアで開催予定の R10 SYWL Congress に代表を派遣する点。
- 2018 年 Japan Council 会計中間報告は特に問題無し。
- 各常設委員会から前回理事会以降の活動報告がなされた。
- Ad-Hoc 委員会と Affinity Group から 2017 年活動報告と、2018 年活動計画案および予算案の説明がなされた。
 - GDPR が 5/25 にスタート。
- JC Coordinator の 2018 年活動計画案および予算案の報告があった。
- 2019/2020 役員選挙スケジュールおよび Nominating Committee Chair の選出を行うことについて説明があった。
- 各支部から 2018 年における活動計画および前回理事会以降の活動報告があった。

(3) Chapter Operations Committee 関係

藤島 Chair より、資料(3-1)「IEEE Japan Council Chapter Operations Committee 2017 年度活動報告と 2018 年度活動計画」、資料(3-1-2)「2017 年 Chapter 支援費申請リスト」、資料(3-1-3)「2018 年 Chapter 支援費申請状況」、資料(3-1-4)「Chapter Award 申請状況」、資料(3-2-1)「Chapter 支援の考え方とその運用に関する留意点」、資料(3-2-2)「Chapter 主催 Award に関するガイドライン<改定>」、資料(3-2-2-2)「Chapter 主催 Award 登録申請書」に基づいて、昨年度の活動と本年度の計画、申請書類の変更点に関する説明があった。

• 3-1 Chapter Operations Committee 2018 年度の活動計画

- 各 Chapter の活動報告の最新版は Web よりダウンロード可能。
- 第 2 回の COC Meeting を 11/15 に予定している。
- 2018 年まだ残額あるため、積極的な申請をお願いしたい。
- 2016 年は、予算額と比較して半額しか執行できていない。前回までの資料では実績額に申請額も含めて記載していたが、今回は実績額を清算払いのみとし、さらに報告書が提出されていない申請を含めていないためである。
- 支払いが遅れると会計上問題となるために、Chapter 支援費は翌年 3 月を報告書の締め切りとしたい。
- Section 支援費が Chapter 支援費以外にある。Chapter 残高に応じて Chapter 支援費申請を考えて欲しいとの依頼が理事会からあり。次回以降の申請から Chapter 残高を申請書に記載することとした。これに伴い、p.38 の申請書フォーマットを変更した。
- Chapter 支援費では IEEE 会員には謝金支出できない。明示するために p.39 の C を修正。

• 3-2 2018 年度の Chapter 支援費予算と支援ガイド等について

- 27 Chapter から 40 件の Award 登録がある。継続申請が無かった Award は終了扱いとなっている。来年 2019 年からは新規・継続を問わず、原則、翌年の Award 申請を毎年 11 月末までに行い、翌年の 1 月までに回答することにした。

- 役員が変わってから Award 登録すると漏れが生じる可能性があるため、旧役員で Award 審査をしたいというのが意図。
 - 新規・継続はどちらも同様に審査するため差は無い。p.48 が申請書である。
 - p.45 で、授与決定後に Award 情報掲載するのは時系列としておかしいため、Award 決定後に情報を記載するように C を修正し、C-1 で選考基準を書くというように整理した。C-2 に受賞対象・理由を記載とした。
 - 重要課題への対応について、Award 予算 160 万円に対して昨年 93 万円の支援であったため申請を活用頂きたい。
 - 年に 2 回 officer 向けトレーニング実施検討している。p.54 から資料がある。
 - 2016 年は未払い金が 150 万あり。組み戻しが問題だという指摘が監査からあった。2017 年は表の通りに支出している。
 - 審査迅速化のためにスケジュールを決めて審査を行っている。3 週間程度で回答することを目標としている。修正が必要な場合は、1 か月以内に提出して頂きたい。
 - DL 講演会に関しては、Chapter ガイドライン p.34 を修正した。以前のガイドラインでは、本部との交渉が必要と書いてあったが、支払えないことを示せば必要費用を申請できることとした。ただし、原則、DL は本部負担である。
 - 懇親会を含む有料事業について、支援できない懇親会費は別会計にすることが望ましい。
- **3-3 Chapter 支援申請関連手続きとメール配信について**
 - 手続上重要な点が記載されているので目を通して頂きたい。
 - **3-4 Chapter ホームページの運用状況**

伊藤 Secretary より、資料(3-4)「Chapter ホームページの運用状況」に基づき、説明がなされた。

- CAS 福岡 Chapter から更新済の連絡あり。
- Chapter 支援は HP 記載が必要であるため、更新をお願いしたい。

(4) その他報告

(ア) 4-1 Co-Sponsorship/Technical Co-Sponsorship の承認について

杉江 JC Secretary より、資料(4-1-1)「Co-Sponsorship/Technical Co-Sponsorship の承認について」と、資料(4-1-2)「国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS)に関する Fee について」に基づいて説明がなされた。

4-1-1 MOU 締結と共催等の承認に関する手続きの進め方

- ① 承認のやり方について、MOU 締結する場合は各支部 Chapter と MOU を締結することになる。JC は MOU を締結しない。収支については各支部が責任持つことになる。Joint Chapter については、Chapter の親支部(多くは東京支部)で審査し、Joint Chapter に関連する支部の合意を得た後に手続となる。
- ② MOU 申請・承認手続きは、収支計画が添付されていることが重要。

4-1-2 Chapter の Technical Co-Sponsorship(TCS)について

③ 記載内容の通りである。IEEE Xplore に記載しない場合でも 1000ドル払う必要がある。

④ 質疑

(イ) 4-2 Chapter Officer 用 manual とメール配信ガイドラインの変更について

杉江 JC Secretary から、資料(4-2)「Chapter Officer ガイド」に基づき説明がなされた。Japan Council のメール配信方針がJC理事会で承認されたらば、HP にアップする。

(ウ) 4-3 GDPR について

杉江 JC Secretary より、資料(4-3)「IEEE GDPR について」に基づき説明がなされた。

(5) 各 Chapter の活動報告

藤島 Chair より、各 Chapter の活動報告資料についてダウンロードし確認するよう依頼があった。

杉江 JC Secretary より、JC-WIE が WIE International Leadership Summit (ILS)を今年 11/9-10 (芝浦工大)に企画しているので、参加するよう依頼があった。また、IEEE Annual Election が予定されており、日本からの投票率が例年良くないため是非、投票するよう依頼があった。

(6) その他

藤島 Chair より、資料(6-2)「Society 別・支部部会会員数」について説明がなされた。

以上